

◇◇ 新元号「令和」にまつわる学習 ◇◇

「令和」は

(歌集名)から引用した。

この歌集は、

(年余り前に編纂された、日本)

(の)

歌集であるとともに、

(や皇族)

(だけでなく、

防人(↑調べてみよう!)や

(まで、幅広い階層の人々が詠んだ歌が収められ、

我が国の豊かな国民)

(と、長い)

(を象徴する

)である。

《首相談話より》

この歌集の中の、

(花の名前)の歌を三十二首集めた序文

《書き下し文》

しよしゆん れいげつ

初春の (月にして、

きよ かぜ やわら

気淑く風) (ぎ、

きょう ぜん こひづ

(花の名前)は鏡) (の粉を披き、

はい し こう かお

(花の名前)は珮) (の香を薫らす

◇◇ 新元号「令和」にまつわる学習 ◇◇



「令和」は

万葉集

(歌集名)から引用した。



この歌集は、

千二百

(年余りに編纂された、日本)

最古

(の

「最古」とは? ↑

歌集であるとともに、

天皇

(や皇族、)

貴族

(だけでなく、

防人(↑調べてみよう!)や

農民

(まで、幅広い階層の人々が詠んだ歌が収められ、

我が国の豊かな国民)

文化

(と、長い)

伝統

(を象徴する

↓ 「国書」とは?

国書

(である。

《首相談話より》



この歌集の中の、

梅

(花の名前)の歌を三十二首集めた序文

《書き下し文》

しよしゆん

れいげつ

初春の

令

(月にして、

きよかぜやわら

気淑く風)

和

(を、

「」から「令」と「和」を取ったんだね!

きぎょう

ぜん

こひら

梅

(花の名前)(は鏡)

前

(の粉を抜き、

はい

し

こうかお

蘭

(花の名前)(は珮)

後

(の香を薫らす